

まよういく

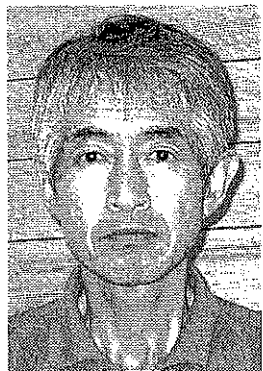
## スクエア

親子、先生と生徒。子どもと大人の関係にはいろいろな形がある。近所のおじさんとの関係もその一つだ。

おじさんと子どもとの関係には、ほかと違う特徴がある。「主従関係」ではなく、中立的な立場で接することのできる仲間のような関係だ。

私がつどものころは、いたずらをしたり、行儀が悪かったりすると、近所のおじさんによく怒られた。しかし、今はなかなか注意をする人はいない。子どもたちも「なんで、この人が注意するんだろう」と、反感すら覚えるようになった。

なぜ、そういう「おじさん」を最近、見かけなくなったのだろうか。仕事が忙しく、地域の子どものたちと接する機会がなくなったことが大きな理由だろう。そんな大人たちを地域社会に「復



## 教育・スポーツ

## 大人を地域復帰させる試み

## 子どもと遊ぶ

帰させる取り組みを、95年から始めた。体験型クラブ「アイアンキッズ少年海賊隊」と、その子どもをサポートする「アイアンキッズ支援隊」である。

どのようにして、子どもたちと接すればいいのか……。親でも先生でもない関係に当初、私を含む支援隊のメンバーは頭を悩ませていた。みんな、普通のおじさんだ。子どもたちに自慢できる趣味も特技もない。それなら、一緒に遊び、肩ひじ張らずに付き合える関係を目指そうと考えた。同時におじさんたちも、地域活動に携わることで活力を取り戻せるのではないかと考えた。

この取り組みは当初、大洗町教育委員会と一緒に始めた。現在は、私が理事を務めるNPO法人「大洗海の大学」で継続し、毎年約30人の子どもの海や山でカヌーなどの体験学習をしている。

子どもたちは、学校や塾などの習い事で忙しく、外で遊ぶ時間が減っている。自然とふれ合いながら、学校で教えてくれないことをおじさんたちから学んでほしいと思う。

(こすもすくーる園長 加藤義孝)

かどう・よしたか 52年生まれ。工学院大卒。サラリーマン生活を経て、83年に幼稚園「こすもすくーる」を設立。NPO「大洗海の大学」の立ち上げにも携わった。